

甕ミュージアム 入館者数 1 万人達成

11 月 16 日(日)、今年 4 月に開館した甕ミュージアムの入館者数が 1 万人を達成しました。

1 万人目となったご家族は「恐竜を楽しみに 10 年ぶりに甕島に来たが、1 万人目になってとても驚いた」と喜びました。

今後も魅力的な展示や子どもたちの喜びの場を提供できるよう、調査・研究、普及・啓発を進めていきます。



税教育の功績により表彰

11 月 18 日(火)、川内税務署から川内商工高等学校に感謝状が贈呈されました。

これは、本校におけるインボイス制度に関する租税教室の実施や、「税に関する高校生の作文」への継続的な参加が税教育の功績として認められたものです。さらに、「税に関する高校生の作文」では、商業科 1 年生の生徒が川内税務署長賞を受賞し、これまでの取り組みが大きな成果を収めました。



【情報提供：川内商工高等学校】

被災者への支援のために

11 月 19 日(水)、薩摩川内市 Woman 創 ing(会長三本釈世氏)から、寄附金の贈呈がありました。

同団体は、女性の立場から地域の諸問題を市へ提案し、地域の発展につながる活動を続けています。頂いた寄附金は、災害による被災者への支援のため、大切に活用させていただきます。



自分で作るお弁当の日

11 月 25 日(火)、海星中学校で、生徒が弁当を手作りして持参する「自分で作るお弁当の日」を実施しました。

これは、島内に高校がない子どもたちの「島立ち」を見据えて行っています。生徒たちは家族の協力してもらいながら栄養や彩りを考えたとてもおいしいそうなお弁当を作り、「大変だったけど達成感があった」と感想を話しました。



魅力ある学校づくりが評価

11 月 26 日(水)、隈之城小学校、平佐西小学校、東郷学園義務教育学校の教諭 3 人が表敬訪問し、県優秀教職員表彰の受賞を報告しました。

これは、学校教育における学習指導や生徒指導などで顕著な実績がある教職員や学校を表彰するもので、学習者主体の授業づくりや金管バンドの指導、組織的な校内研修の取り組みが評価されました。



甕ミュージアムに「リノティタン」が仲間入り

11 月 3 日(月)、甕ミュージアムで、大型の哺乳類である「リノティタン」の骨格標本の公開組立を行いました。

学芸員による標本の解説の後、見学に来た子どもたちも組み立てに参加しました。参加者は普段できない経験をすることができ、楽しみながら骨格について学びました。



足湯に漬かって東部エリアの未来を考える

11 月 7 日(金)、市比野温泉ポケットパークで、東部エリアの未来を考える意見交換会を開催しました。

東部エリア(樋脇、入来、東郷、祁答院地域)で活動する方々と、足湯に漬かりながら、各地域の現状や課題、将来像や活性化の方策について語り合い、今後、市も一緒になって考えていくことを確認しました。



ものづくりの力、ここに集結

11 月 14 日(金)、川内商工高等学校と川内中央中学校で、第 34 回県工業クラブ連盟生徒発表大会が開催され、県内の工業系高校 20 校 1000 人が集まりました。

日頃の学習で培った知識や技術を生かした作品展示、自らの体験を踏まえた意見発表、ロボット競技やマイコンカラー競技など 6 つの部門を通して、学習成果を発表しました。



【情報提供：川内商工高等学校】

読書の秋に本の楽しさを見つける

11 月 3 日(月)、中央図書館で、さつま SENDAI 図書館フェスタを開催しました。

読書グループによるおはなし会、本の修理体験、クイズをしながら館内を回る「図書館ミニ探検」などを行い、本の魅力を感じる 1 日となりました。



ボウリング競技 川薩チームが初優勝

11 月 11 日(火)、ボウリング競技川薩チームの 3 人が表敬訪問しました。

同チームは 9 月に行われた県民スポーツ大会ボウリング競技で団体優勝、個人では、福元選手が優勝されました。上戸監督は、「優勝報告ができてとてもうれしい。来年は 2 連覇を目指して頑張りたい」と意気込みを語りました。



みんなが安心して暮らせるまちへ

11 月 14 日(金)、国道 3 号で、暴力団等排除を呼び掛けるパレードを開催しました。

このパレードは、薩摩川内市暴力団等排除推進連絡協議会が主催したものです。加盟 17 団体約 80 人がパレードに参加し、「薩摩川内市に暴力団はいらない」などと声を揃え、広く市民にアピールしました。

